

山陽小野田市食育推進会議議事録

会議の種類	令和2年度第1回山陽小野田市食育推進会議		
日時	令和2年9月29日(火) 15:00～16:30		
場所	高千帆公民館2階		
出席者	山口県販売協力店連携協議会	大谷浩彦	(委員)
	山陽小野田市教育研究会	佐々木俊子	(委員)
	宇部フロンティア大学短期大学部	末吉奈保美	(会長)
	山陽小野田市母子保健推進協議会	高木理代	(委員)
	山陽小野田市立山口東京理科大学	立花研	(委員)
	山陽小野田市地球温暖化対策地域協議会	内藤美恵子	(委員)
	山陽小野田市食生活改善推進協議会	半矢幸子	(副会長)
	山口県漁業協同組合	久中幸子	(委員)
	小野田南高泊干拓農業協同組合	松村孝子	(委員)
	山陽小野田市保育協会	三井洋子	(委員)
	山口県私立幼稚園連盟	棟久光江	(委員)
	市民代表	吉本早苗	(委員)
	(出席者数 12人)		
欠席者	市民代表	井本和幸	(委員)
	小野田料飲店組合	村岡京子	(委員)
	山口県立厚狭高等学校	森祐子	(委員)
	(欠席者数 3人)		
オブザーバー	山口県宇部健康福祉センター	岡村恵美子	
事務局	福祉部長 兼本裕子	福祉部次長	岩佐清彦
	補佐兼健康増進係長 大海弘美	主査兼健康管理係長	林善行
	健康増進係長(食育) 加藤諭香江	健康増進課技師	白井誓栄
食育推進庁内連絡会	高齢福祉課長 麻野秀明	子育て支援課長	長井由美子
	経済部次長 川崎信宏	学校教育課長	下瀬昌巳
	学校給食センター所長 山本修一		

事務局	<p>1 福祉部長あいさつ</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 令和2年度山陽小野田市食育推進事業計画の変更について (資料1-①、資料1-② 事務局から説明)</p>
(欠席委員)	<p>資料1について、本日、欠席委員より事前に意見をいただいているので、紹介したい。</p> <p>コロナ禍において学校や公民館など公の場での調理の機会は減っているといった現状があり、高校でも全ての調理実習が再開できていない。しかし、自粛期間中、一部の食材料や調理器具が売り切れになるといった状況があり、調理内容は分からないが、この期間、家庭での調理機会は増えているのではないかと思う。</p>
(欠席委員)	<p>地域でも料理講習会を開催し、地産地消を啓発したいと思われる方はたくさんおられると思う。このような状況下においては、たとえ受講生を募集しても参加者が増えないのではないかとやりづらさを感じている。状況が回復していけば、少しずつこのような機会も元のように戻して開催していただきたい。また、コロナ禍の今だからこそ家庭での食育の輪を推進すべき、家庭での食育を活かせるチャンスではないか。そのようなサポートを市でも実施していくべき。小中高校生を対象とした手作り弁当コンテストは、このような現状において、今の子どもたちにはとてもよい取組だと思う。お弁当作りは出来上がりで形が見え、写真に撮ったりすることでより関心を高めてほしい。</p> <p>とのご意見をいただいている。</p>
会長	<p>事務局より今年度の事業の変更について説明があった。資料1-①について御意見はあるか。</p>
委員	<p>自身が勉強不足だと思うが、市公式動画チャンネルや市 Facebook などの SNS を活用して発信していることを知らなかった。このような時代であるため、SNS 中心のイベントもある。もっと啓発するべきと感じた。</p>
会長	<p>市公式動画チャンネルや市 Facebook などの SNS を活用した啓発についての御意見だった。事務局としてどうか。</p>
事務局	<p>しっかり周知をしていきたい。広報手段を世代に合わせ、十分な周知ができるよう検討していきたい。</p>
委員	<p>配布資料の中にスマイルエイジングのパンフレットがあるが、市民に配布したのか。</p>
事務局	<p>2種類のパンフレットを作成している。8ページ刷りのパンフレットは8月1日に完成しており、関係団体を通じて既に配布を始めている。もう1種類の概要版と記載しているパンフレットは、コロナ禍の今だからこそ取り組む健康づくりを伝えるために作成した。こちらは10月1日の班回覧にて市民へ周知を予定している。また、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高校、大学など、様々な場面で配布をさせていただく。</p>
会長	<p>その他に御意見はあるか。なければ資料2について事務局より説明をお願いしたい。</p> <p>(2) 令和元年度山陽小野田市食育推進事業実績について</p>

事務局	(資料2 事務局からの説明)
会長	事業実績について、抜粋しての説明があった。資料2について御意見はあるか。
委員	4ページの大学での食育講演会は本学で実施した事業である。参加延人数の50人は割と集まったほうだが、この50人はもともと興味がある人達が参加している。できれば、興味がない人をいかに興味を向かせるかが大事だと思うので、普段行っている講義の中に組み込んで、一度聞いてもらう機会をつくらないといけないと思っている。その辺りは相談させていただきたい。
会長	3010運動の推進、食べ残しや食品ロス対策について、御意見はあるか。
委員	常日頃から子ども達に食べ残しをしない、ゴミの分別等を分かるように指導していけたらと思っている。高千帆児童館に出向き、地産地消について子ども達に伝える予定だったが、中止となり残念に思っている。特に食品ロスについては、親の世代が使い捨てる時代に育っているが、小さい時期からの教育が大切なので行っていきたい。
委員	食品ロスや地産地消等、私たちの活動でも実施している。大人より、子どもに伝えた方が効果的だと思う。今年度は事業ができない状況だが、実績報告を受け、今一度考えて、地道に活動ができるよう心新たにしていきたい。
事務局	先程、事業実績について報告をさせていただいたが、幼児や子育て世代の保護者に対しては、キッズキッチンの開設により、以前に比べて啓発ができたと感じる。キッズキッチンは申し込みが定員に達することが多く、お断りをする状況もあり、保護者に対してだけでなく、子ども達の調理体験の場も増えてきていると思う。小学生以上に対してはねたろう食育博士養成講座があるが、関心がある方に偏る傾向がある。 高校生、大学生に対してのアプローチなど、対策は不十分だが、食生活の変化が大きく、食課題を感じている。地域のボランティアの方については、子どもを通じた教室の開催など、食育を盛り上げて頂いている。ただ、食生活が自立していく中学生、高校生、大学生は一番課題に感じているところなので今後、御意見を頂きながら、市としても取り組んでいきたい。
委員	質問だが、5ページにある「飲食店でのヘルシー（仮称）レシピの提供」で実態把握の実施が4店舗あるが、具体的に事務局で把握しているのか。
事務局	外食をする中で、食事バランスや減塩、野菜摂取等の取組といった環境づくりにおいて、提供する側である飲食店組合などにご協力いただけないかというのが念頭にある。そこを目指して、少ない数だが、直接お店に伺って、まずは実態把握をさせていただいた。外食産業は利益を求められていること、客のニーズがヘルシーとは遠いところにあるという話が聞けた。外食は特別感やしっかりとした味付け、家では食べることができないものを求めて来られる方が多く、「ヘルシーメニューの提供

	<p>に対してニーズとの差を感じ、中々取り組めない」ということを伺っている。それを踏まえて今後どのように展開していくかを考えていきたい。</p>
委員	<p>ヘルシーメニューや野菜がたっぷり摂れる等の宣伝があれば、単身者などは行くと思う。店舗の名前が把握出来たら消費者の立場としてはとてもありがたいと思う。</p>
事務局	<p>(3) 令和3年度山陽小野田市食育推進事業計画に向けて</p>
局長	<p>(事務局からの説明)</p> <p>来年度の事業について、御意見はあるか。</p>
委員	<p>今年度、漁協に関して子ども達への事業計画があったが、中止になった。子どもが2・3歳の時に魚の小骨が喉にささると子どもは魚を食べてくれなくなる。子どもが嫌がるからといって、魚ではなくハンバーグ等のやわらかいものばかりを食べさせているため、顎が発達しなくなったり、歯並びが悪くなったといった現状も聞く。尻尾の方は骨が少ないため、工夫してできるだけ魚を食べてほしいと感じる</p>
会長	<p>保育園の立場としてはどうか。</p>
委員	<p>今の魚の話を受け、所属する園では魚屋から魚を納品して頂き、講話もしていただいている。他園より子どもにとっては魚に接する機会は多いと思うが、やはり興味があることでないと食も進まない。コロナ禍だが、会議で出た話も保護者に伝えていきたい。</p>
会長	<p>食材の提供もあるが、店舗の立場として御意見はあるか。</p>
委員	<p>弊社ではスーパーを経営している。現在、地産地消コーナーに旬の食材を美味しく食べるレシピを置いており、お客様からは関心が高い。栄養価が高く、安くておいしく新鮮に食べるという意識が高い。そのような意味では地産地消のコーナーにお客様に来ていただくためのメニュー提供をできればと感じている。市の SNS で旬の野菜のレシピを全面的に啓発してほしい。</p>
会長	<p>幼稚園の立場としてはどうか。</p>
委員	<p>便秘を抱えている子が多いことが気になる。便の色、形、固さは健康のバロメーターであるが、幼稚園に入園する際に、既に便秘を抱えている子が多い。朝、バスで迎えに行った際、「今、便が出そうで、トイレで頑張っているので今日はバスを利用しない」という子や、薬に頼っている子もいる。本日配布していただいたスマイルエイジングのパンフレットの裏表紙に免疫力を高めるレシピ“腸活サラダ”が載っているが、腸活という話を聞いて、未就園児の保護者に話をさせてもらったこともある。筋力がなく、トイレでの踏ん張り方が分からない園児がいることも感じている。そこが整わないから始業に間に合わない、みんなと同じ活動ができない、1日機嫌が悪い等につながっていると感じる。</p>
委員	<p>コロナで家庭科の調理実習ができないこともある。小学校では、給食センターから毎月19日に食育だよりが届く。給食だよりには楽しい話題が沢山記載されている。調理員が考えた、苦手な野菜が食べられるようになるレシピや、地産地消はもちろんだが、他県、他国の名産やレン</p>

委員	<p>ピも紹介されており、子ども達も興味深く、給食を食べている。</p> <p>小学校や児童館で食育を行っているが、現在、活動はできていない。先程、事務局から目標指標と目標値の説明があったが、目標値なので、ある程度数値化すると取組みやすいと感じる。</p>
事務局	<p>目標値について、5か年計画という短い期間であるため、まずは少しでもあげることを目標に、このような形にしている。来年度中間評価で調査を実施するが、現状を見て頂いて、御意見を頂きたい。</p> <p>また、魚食推進、噛むことでの歯の発達への影響、早寝早起き朝ごはんに加えての排泄、食育だよりを通じた啓発・PR について貴重なご意見を頂いた。意見をもとに来年度以降の事業に活かしていきたい。</p>
会長	<p>その他に御意見はあるか。なければ資料3について事務局より説明をお願いしたい。</p> <p>(4) 第2次食育推進計画中間評価(食に関する市民意識調査)について</p>
事務局	<p>(資料3 事務局からの説明)</p>
会長	<p>資料3について、御意見はあるか。</p>
委員	<p>目標指標12について、農林漁業体験を経験した市民の割合をどのように把握しようと考えているのか。</p>
事務局	<p>これまでに農林漁業体験、例えば庭やベランダでの家庭菜園含む野菜等の栽培・収穫、田植え、牛や馬などの動物の飼育などをしたことがありますか?という設問を考えている。併せて、したことがあると回答した人は、どのような場で体験したか、詳細を問う内容を考えている。</p>
委員	<p>調査の指数を期待したい。</p>
委員	<p>農林漁業体験の場を問うところで、“祖父母の家、親戚、知人等の手伝い”とあるが、自宅はいらぬのか。入るとわかりやすい。</p>
事務局	<p>参考にさせていただき、見直していきたい。</p>
事務局	<p>SNSを活用して動画や写真を見る際、ジャンクフードやコンビニのおやつ等を目にする機会もある。本日会議に参加させていただき、若い世代にこれからの未来を真剣に考えてもらいたい。自身も勉強できる機会を積極的に活用して、身近な人にも発信していきたい。</p> <p>(5) その他</p>
事務局	<p>スマイルエイジングのパンフレット2種類について説明したい。</p> <p>まず、パンフレット「スマイルエイジング 笑顔で年を重ねようやあ!」について、「スマイルエイジング」の推進にあたり、スマイルエイジングを市民に周知し、楽しみながら健康づくりに取り組んでもらうことを目的に、市民啓発用パンフレットを作成した。このパンフレットのコンセプトは、“年齢に関係なく手に取ってもらえるようインパクトのあるもの” “健康に無関心な市民が、興味・関心を持つきっかけとなるもの” “スマイルエイジング及び市民のチャレンジ目標等のPRとなるもの”としている。8月から各公民館等行政施設や地域団体等を通じて随時配布している。続いて、パンフレット「スマイルエイジング 笑顔で年を重ねようやあ!～コロナと向き合う健康づくり～」概要版につ</p>

オブザーバー	<p>いて、コロナ禍の今だからこそ取り組む健康づくりをお伝えするために作成した。新型コロナウイルス対策を推進すると同時に健康づくりやスマイルエイジングの浸透を図りたい。こちらは、自治会便班回覧の活用などで配布・啓発している。他に団体等で市民の方に渡していただける機会があれば、本日多めに持参しているので配布に御協力いただきたい。</p> <p>3 その他</p> <p>食育に関して、前向きに取り組んでいただき感謝している。コロナ禍で、3密を避け、感染対策をしていただくことが大切。議題でも出ていた SNS を活用しての情報提供については、今の時代だからこそであり、若い世代にとっては SNS の活用は重要な情報提供の手段である。SNS 苦手な方もいるため、紙媒体も併用して情報提供していくことが大切。本日参考までに資料を準備している。このようなリーフレットも活用していただきたい。減塩対策や野菜摂取等のリーフレットを県でも作成している。塩分については0.5g ずつ国の目標値が下がっている。各団体が実施していることにプラスして、信頼できる情報源を元に、周りで見聞きしたことを発信してもらいたい。併せて、県で実施しているやまぐち健康応援団の登録を行っている。この中で減塩や野菜たっぷりメニューをしている店舗もある。先程、議題の中でも、ヘルシーメニューについては実際のニーズと合わず、食と栄養に関しての店舗が増えない現状もあるが、県としても御理解も得ながら進めていきたい。</p> <p>福祉部次長あいさつの後、閉会した。</p>
--------	--